# 庄内地域における「魅力ある学校づくり」の考え方について（事務局案）

## ★今こそ庄内地域を「教育」から変革します。

〇「魅力ある学校づくり」ワークショップでは、子どもたちに「考える力や判断する力、探求心や挑戦する気持ちをもってほしい」「思いやりをもってほしい」「コミュニケーション力を身につけてほしい」「協調性を養ってほしい」「我慢することを覚えてほしい」「夢や目標をもってほしい」といった意見を多くいただきました。

〇子どもたち一人ひとりが、夢や希望を抱いて、将来、社会で生きていくために必要な力の基礎を築けるように、教育環境を整備するとともに、子どもたちの「学び」や「育ち」を支える教育活動等の充実を図る必要があります。

| | 教育環境の整備 | 教育活動等の充実 |
|---|---|---|
| 検討の背景・状況 | 〇庄内地域においては、今後も児童・生徒数が減少し、小・中学校ともさらに小規模化が見込まれます。子どもたちが集団生活を通じて成長していく環境を整えるためには一定以上の規模を確保する必要があります。<br>〇また、家庭の教育力低下が指摘されている昨今、それを補完するために地域ぐるみで子どもを守り、育てる環境を整える必要があります。 | 〇学力課題を抱える子どもたちの学習を保障するためには、心身の成長段階に応じた学習指導を行い、基礎学力をはじめとするさまざまな力を身につけて、将来の進路を自分で選択できるようにする必要があります。<br>〇また、生活課題を抱える子どもやその保護者については、問題の根本を把握し、各ケースに必要な措置を講じる必要があります。 |
| 対応方策の方向性 | 〇庄内地域の**小・中学校を再編**し、新たな「魅力ある学校」づくりに取り組みます。<br>〇それぞれの学校に必要な施設、例えば放課後の学習スペースや交流スペース等を整備して、子どもたちにとって居心地の良い場づくりを進めます。<br>〇（仮称）南部コラボセンターとの緊密な連携を図り、子どもたちの学びや育ちをサポートできる環境づくりを進めます。 | 〇義務教育９年間を見通して、系統的、連続的な教育を効果的に行う方法として、**小中一貫教育**※を推進します。<br>〇学校の施設等を活用して、さまざまな人材が連携、協力して、地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを支援する事業等を検討します。<br>〇家庭環境が厳しい子どもや保護者に対して、教職員だけでなく、専門的な知識、ノウハウをもつ福祉系職員や関係機関等と連携して迅速、円滑に対応できる体制を構築します。 |

※１年生から４年生までは基礎基本の定着を重視して丁寧に、５年生からは専門性を重視しつつ、小・中学校の先生が一緒に子どもたちの学びをサポートします。